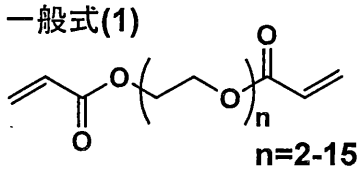
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年6月14日(2024.6.14)

【国際公開番号】WO2023/032372
【出願番号】特願2023-545085(P2023-545085)
【国際特許分類】
Ｈ１０Ｋ 50/842(2023.01)
Ｈ１０Ｋ 50/844(2023.01)
Ｃ０８Ｆ 20/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ１０Ｋ 50/842426
Ｈ１０Ｋ 50/844445
Ｃ０８Ｆ 20/10

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月6日(2024.6.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光硬化性モノマー（Ａ）及び光重合開始剤（Ｂ）を含有する電子デバイス封止用組成物であって、
前記光硬化性モノマー（Ａ）として、少なくとも鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）と鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ２）を含有し、
前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）が、アルキレン骨格又はアルキレンオキシド骨格を有し、
前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ２）が、一つのフェニル基又はフェニレン基、複素環基及びシクロアルキル基より選択される、少なくとも一種の環状基を含む電子デバイス封止用組成物。
【請求項２】
前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）が、アルキレン骨格又はエチレンオキシド骨格を有する請求項１に記載の電子デバイス封止用組成物。
【請求項３】
前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）が、下記一般式（１）で表される構造を有するエチレングリコールジ（メタ）アクリレート又は前記アルキレン骨格内の炭素数が６～１０の範囲のジ（メタ）アクリレートから選ばれる請求項１に記載の電子デバイス封止用組成物。
【化１】

一般式(1)



n=2-15

【請求項４】

含有されているモノマーの総質量を１００としたとき、前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）及び前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ２）の含有質量比率当たりの酸素原子数の合計が、４．５個以上である請求項１に記載の電子デバイス封止用組成物。

【請求項５】

請求項１から請求項４までのいずれか一項に記載の電子デバイス封止用組成物を用いて、封止膜を形成する方法であって、

電子デバイス上に気相法により第１封止層を形成する工程と、

前記第１封止層上に前記電子デバイス封止用組成物を塗布することにより第２封止層を形成する工程と、を備える電子デバイス封止膜形成方法。

【請求項６】

前記第２封止層上に、気相法により第３封止層を形成する工程を備える請求項５に記載の電子デバイス封止膜形成方法。

【請求項７】

前記第２封止層を形成する工程が、インクジェット法を用いる請求項５に記載の電子デバイス封止膜形成方法。

【請求項８】

電子デバイスを封止する電子デバイス封止膜であって、

窒化ケイ素、酸化ケイ素又は酸窒化ケイ素を含有する第１封止層と、

請求項１から請求項４までのいずれか一項に記載の電子デバイス封止用組成物を用いた第２封止層と、を有する電子デバイス封止膜。

【請求項９】

前記第２封止層上に、窒化ケイ素、酸化ケイ素又は酸窒化ケイ素を含有する第３封止層を有する請求項８に記載の電子デバイス封止膜。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

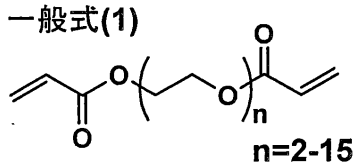
【補正の内容】

【００１１】

３．前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）が、下記一般式（１）で表される構造を有するエチレングリコールジ（メタ）アクリレート又は前記アルキレン骨格内の炭素数が６～１０の範囲のジ（メタ）アクリレートから選ばれる第１項に記載の電子デバイス封止用組成物。

【化１】

一般式(1)



n=2-15

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

４．含有されているモノマーの総質量を１００としたとき、前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ１）及び前記鎖状の（メタ）アクリレートモノマー（Ａ２）の含有質

量比率当たりの酸素原子数の合計が、４．５個以上である第１項に記載の電子デバイス封止用組成物。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
７．前記第２封止層を形成する工程が、インクジェット法を用いる第５項に記載の電子デバイス封止膜形成方法。